

東京都市大学 柏門技術士会

第 1 7 期通常総会

2 0 2 0 年度

(2020 年 4 月～2021 年 3 月)

議 案 書



2 0 2 0 年 6 月 2 7 日 (土)

(書面審議 6 月 21 日～6 月 27 日)

東京都市大学 柏門技術士会

東京都世田谷区玉堤 1-28-1

東京都市大学 都市工学科事務室

TEL:03-5707-0104 (内 3200)

<http://www.tokyotosi-hakumon.org/>

次 第

I 第 17 期通常総会（書面審議：期間 2020 年 6 月 21 日(日)～6 月 27 日(土)）

定数確認 議決権保有会員 93 名（理事 10 名含む）
委任状 48 名、書面審議参加 16 名→計 64 名
（6 月 20 日時点）

会則第 21 条の規定により
総会は成立致しました。

1. 会長 挨拶（同時送付の書面審議ご案内をご覧ください。）

佐藤会長

2. 議事

各議案の要旨説明（同時送付の書面審議ご案内をご覧ください）

佐藤会長

第 1 号議案 第 16 期 活動報告

第 2 号議案 第 16 期 決算報告

1) 第 16 期 収支決算報告

2) 第 16 期 監査報告

第 3 号議案 会則の変更

1) 理事の増員

第 4 号議案 新任理事・幹事の選出

1) 理事の選出

2) 監事の選出

第 3 号議案承認が必要条件

第 5 号議案 第 17 期 活動計画

各委員会の活動計画

第 6 号議案 第 17 期 予算案

3. 報告事項

1 新任顧問の委嘱

2 役員体制表

3 会員の動向

5 名の新任顧問委嘱の報告
理事・監事増員後の体制表
過去 1 年間の会員動向

閉会挨拶

安部副会長

第1号議案 理事会（運営委員会）活動報告および各委員会活動報告

1. 理事会（運営委員会）	開催日時	場所
第164回運営委員会	2019年 4月13日（土）10:00～12:00	①
第165回運営委員会	2019年 5月18日（土）10:00～12:20	②
第16期柏門技術士会通常総会	2019年 6月 1日（土）14:30～15:30	③
第1回理事会（166回）	2019年 6月15日（土）10:00～11:45	②
第2回理事会（167回）	2019年 8月 3日（土）9:30～11:00	②
第3回理事会（168回）	2019年 9月14日（土）9:20～11:45	④
第4回理事会（169回）	2019年10月12日～18日（土）台風19号	⑤
第5回理事会（170回）	2019年11月 9日（土）9:30～11:30	②
第6回理事会（171回）	2019年12月13日（金）16:00～18:00	⑥
第7回理事会（172回）	2020年 1月11日（土）13:30～15:30	②
第8回理事会（173回）	2020年 2月 8日（土）10:30～11:45	②
第9回理事会（174回）	2020年 3月14日（土）10:00～11:45	②
第10回理事会（175回）	2020年 4月11日～17日（土）新型コロナ感染防止	⑤
第11回理事会（176回）	2020年 5月 9日（土）新型コロナ感染防止	⑦

※2019年6月1日決定の会則変更に伴い、定例的な審議が運営委員会から理事会に移行となった。

2. 場 所

- ①菊名コミュニティーハウス
- ②横浜花咲ビル10階（竹中土木横浜支店）
- ③東京都市大学 5号館B1小講堂
- ④東京都市大学 4号館2階 建築都市学群多用室
- ⑤メールによる書類審議
- ⑥校友会館自由が丘クラブ
- ⑦Web会議

3. 全体議事

3. 1 第17期定期総会に関して

- 1) 理事数の見直しと理事会運営に関する検討
- 2) 総会における議案説明次第の決定
- 3) 今年度活動報告および次年度計画に関する各委員会からの資料の検討
- 4) 第17期総会次第の審議

3. 2 総会議案書作成について

- 1) 総務委員会より、第17期総会の全体プログラム、議案書の表紙および次第、顧問名簿の変更点について説明
- 2) 顧問名簿については、皆川先生に確認をいただき修正
- 3) 議案書の活動報告は主要な議事をまとめた内容にした。

3. 3 会則・細則の見直し検討

- 1) 理事数の見直しと理事会運営に関する検討

3. 4 新入会員へ委員会活動参加の勧め

- 1) 委員会活動参加の勧め案内を作成し3年以内に入会した方にすすめる。
- 2) 世田谷祭のホームカミングに参加し親睦を図る予定であったが、世田谷キャンパスが台風19号により被災したため中止。

3. 5 各委員会の委員増強について

若い会員の方に委員会に参加していただくよう、総会や懇親会などで呼びかけを行う。

3. 6 その他全体情報

- 1) 校友会原口会長に、引き続き「在校生への支援」として技術士第一次試験合格者へ受験料を助成することを確認。
- 2) 台風15号上陸に伴い技術士第一次試験が3月に延期となった。そのため今年度の合格祝賀会を次年度に延期することとした。
- 3) 技術士第一次試験合格祝賀会は修習技術者として柏門への入会と、第二次試験を目指すガイダンスを開催し、卒業後も継続的に情報提供を続け縁が切れないようにする企画である。

4. 委員会活動報告

4. 1 総務委員会

- 1) 総会に向けての準備・工程案作成
- 2) 通常総会の招待者、顧問、事務局および会員への案内
- 3) 顧問の継続委嘱についてのお知らせおよび新任顧問への委嘱依頼、顧問への委嘱状発行
- 4) 新規入会者の委員会への参加呼びかけ
- 5) 会則の修正案作成
- 6) 会報誌発送ラベルの作成と印刷
- 7) 会員名簿の管理・更新

4. 2 広報委員会

- 1) HPの改善点を検討していく
 - ・新柏門HPの継続運営
 - ・新規情報を継続的に掲載していく
- 2) 都市大ロゴマークの使用許可を取得
 - ・都市大ロゴマークをホームページと名刺に使用する手続き
- 3) メーリングリスト配信により会員へ総会案内、CPD見学会案内、講演会、新情報を提供
- 4) 会報誌の編集及び出版を実施

4. 3 教育委員会

- 1) 技術者倫理の講義担当
 - ・都市工学科の必修科目として実施し、5月で終了した。
 - ・都市工学科倫理講義の採点および取り纏めを、松浦委員を中心に実施

- 2) 東名・新東名高速道路見学会
 - ・学生参加者が多くバス満席で例年どおり実施された。
- 3) 次年度の都市工学科技術者倫理授業の準備を進めた。
- 4) 講義はアクティブラーニングとしており、講義の後半はグループごとにテーマに沿った議論をしてもらっている。また、新型コロナウイルス感染防止に伴いWeb授業の検討を行った。

4. 4 企画渉外委員会

- 1) 第49回CPD見学会「そなエリア防災体験実習」の実施(2019年6月18日)
- 2) 第51回CPD見学会「東京都北区-北清掃工場見学会」の実施(2019年11月15日)
- 3) 6/8～9の横浜祭、11/2～3の世田谷祭(台風19号被災により中止)にて、柏門技術士会のパネル展示ブースを実施
- 4) 11/2～3の世田谷祭のホームカミングデーの際に柏門の会員が集まるテーブル設置(台風19号被災により中止)
- 5) 技術士第一次試験合格お祝い会実施
 - ・技術士第一次試験が台風19号上陸により3月に延期となったため、技術士第一次試験合格お祝い会は次年度に開催することとする。
- 6) 日本技術士会技術士資格活用委員会の大学と大学技術士会へのヒアリング実施(2020年2月)

4. 5 試験支援委員会

- 1) 技術士試験大学別合格者数の調査
 - ・第一次試験の在学学生合格者情報を大技連経由で試験センターから入手した。
 - ・都市大は、在学学生13名全国大学(高専含む)29位(私学大8位)、卒業生29名全国大学54位(私学21位)。なお、台風19号の影響で2020年3月に再試験が実施された。
- 2) 世田谷キャンパスにてTOETC&技術士ガイダンス実施(2019年5月)
- 3) 横浜キャンパスでは環境と建設部門を対象に技術士ガイダンス実施(2019年5月)
- 4) 横浜キャンパスで特別講義(技術士補コース)を実施(全14回)
- 5) 令和元年度「特別講座(技術士補コース)」の反省と令和2年度の取組について
 - ・令和2年度は新型コロナ感染防止のため授業形式、期間、時間に変更が生じた。変更内容に応じてカリキュラムの見直しを行う
- 6) 都市工学科キャリアアップ講義にて技術士制度及び柏門技術士会、第一次試験の説明を実施(2019年7月)
- 7) 機械工学科ガイダンス「機械工学セミナー」を実施(2019年4月、5月)

4. 6 事務局

- 1) 年会費納入者数の推移、運営委員会開催スケジュール他
- 2) 柏門技術士会会計管理
 - ・柏門技術士会の月次会計管理
 - ・年次予算計画及び年次収支報告の作成
- 3) 都市大メールアドレスを取得
 - ・各委員会の主要委員の都市大メールアドレス管理
- 4) 都市大サーバーの利用申請
 - ・都市大サーバーの柏門会員メーリングリスト利用

- ・都市大サーバーのストレージ利用
- 5) 都市大サーバーの利用申請
- 6) 都市大ロゴ入り柏門技術士会名刺の調整

4. 7 その他

- 1) 台風19号都市大被災に対する柏門技術士会義援金の募集
- 2) 故山田秋夫元柏門技術士会会長の追悼文集の作成
 - ・柏門技術士会会員から追悼文を募集し文集を作成した。
 - ・追悼文集をご家族にお悔やみとともに送付
 - ・追悼文集を寄稿者に送付、17号会報誌へ掲載予定

以上

第2号議案 第16期 収支報告

東京都市大学 柏門技術士会 第16期 収支決算報告書

2019(平成31)年4月1日～2020(令和2)年3月31日

1. 収入の部

(単位:円)

科目	第16期 予算	実績	実績-予算	備考
会費収入	450,000	435,000	△ 15,000	99人×フェロー会員設定(1~5千円)による減(予定:100人×4,500円)
行展会費	105,000	98,000	△ 7,000	総会懇親会会費及びお祝い金
協賛広告費	100,000	100,000	0	2社×50千円(日本工営㈱様、㈱TERADA様)
雑収入	600,000	6	△ 599,994	校友会:技術士第一次試験助成金は、台風来襲に伴う試験日延期により、来期に持ち越し
台風19号義援金	0	189,000	189,000	東京都市大学への寄付(個人分)
当期収入合計	1,255,000	822,006	△ 432,994	
前期繰越金	1,369,788	1,369,788	0	
収入総合計	2,624,788	① 2,191,794	△ 432,994	

2. 支出の部

科目	第16期 予算	実績	実績-予算	備考(増減理由等)
事務用品費	38,000	14,607	△ 23,393	事務用品、受験参考書等の購入減
印刷・通信費	85,000	54,691	△ 30,309	16期総会往復葉書経理処理遅れ(17期購入)、山田先輩追悼集送付
行展会費	127,300	112,732	△ 14,568	総会・世田谷・横浜祭での備品等の流用による減
会報誌、広報	259,000	216,000	△ 43,000	会報誌印刷費の相見積実施による減、都市大新聞への広告掲載要請無く減
委員会費	66,000	20,394	△ 45,606	理事会会場:無料施設を利用を基本として減
渉外費他	634,000	33,088	△ 600,912	技術士第一次試験助成金無し(試験日延期にて未実施 55名×11,000円/名予定)、山田先輩追悼集
台風19号義援金	0	0	0	東京都市大学への来期寄付予定(個人分189,000+本会100,000⇒289,000予定)
当期支出合計	1,209,300	② 451,512	△ 757,788	
次期繰越金	1,415,488	③ 1,740,282	324,794	
支出総合計	2,624,788	2,191,794	△ 432,994	

3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部-②支出の部	① 2,191,794	② 451,512	③ 1,740,282	2020(令和2)年3月31日現在残高
-------------	-------------	-----------	-------------	---------------------

監査の結果、上記決算内容は適正であると認めます。 令和 2(2020)年 5 月 11 日

監事

中澤

真



監事

印

第16期 当期支出内訳

科目	第16期予算		第16期支出		備考
	内訳項目	内訳品名	予算内訳	支出実績	
事務用品費		38,000		14,607	△ 23,393
①会報誌・総会	封筒		5,000	8,037	37
②事務局	封筒、事務用品他		10,000		
③技術士試験支援	受験参考書		20,000	4,644	△ 15,356
印刷・通信費		85,000		54,691	△ 30,529
①第16期総会	資料印刷費(70部)		0	25,374	25,374
②第17期総会	案内往復葉書(200枚)		45,000	0	△ 45,000
③柏門案内	パンフレット(500部)作成費		0	0	0
④会報誌16号	送付費用		30,000	27,514	△ 2,486
⑤世田谷祭	資材運搬費		2,000	0	△ 2,000
⑥横浜祭	資材運搬費		2,000	1,123	△ 877
⑦事務局	新規入会者等 郵送代		5,000	680	△ 4,540
⑧技術士試験支援	資料等印刷費		1,000	0	△ 1,000
行展会費		127,300		112,732	△ 14,568
①第16期総会	懇親会費用		62,300	112,732	△ 4,568
②世田谷祭	講演会費		50,000		
③横浜祭	会場設営・設備費		5,000		
④世田谷祭	ポスター準備・会場設営他		2,000	0	△ 5,000
⑤横浜祭	ポスター準備・会場設営他		2,000	0	△ 5,000
⑥世田谷祭	世田谷祭実行委員会対応		3,000	0	△ 5,000
⑦横浜祭	横浜祭実行委員会対応		3,000	0	△ 5,000
会報誌、広報		259,000		216,000	△ 43,000
①会報誌16号	テープ起こし費用		54,000	189,270	△ 29,730
②HP維持費	HP用サーバーの賃借料		30,000		
③都市大新聞	広告等掲載料(技術士試験関連)		10,000	0	△ 10,000
委員会費		66,000		20,394	△ 45,606
①交通費補助	技術士関連広報活動		45,000	10,394	△ 34,606
②委員会会議	会場費		3,000	0	△ 3,000
③寄付講座	講師交通費		18,000	10,000	△ 8,000
渉外費他		634,000		33,088	△ 600,912
①他大学技術士会等	総会・懇親会・シンポ参加費		0	0	0
②新東名見学会後援	講師(6名)への手土産		8,000	0	△ 8,000
③見学会(7月)	見学先への手土産		3,000	0	△ 3,000
④見学会(11月)	見学先への手土産		3,000	2,160	△ 840
⑤大学顧問との交流会	意見交換会費		27,000	0	△ 27,000
⑥事務局	協賛先等へのお礼		43,000	30,928	△ 12,072
⑦技術士第一次試験助成金	申請者への助成金支給(11,000円/人)		550,000	0	△ 550,000
⑧技術士第一次試験合格祝賀会	祝賀会費用(合格者超過分)		0	0	0
台風19号義援金		0		0	0
①台風19号義援金	東京都市大学への寄付		0	0	0
当期支出合計		1,209,300		451,512	△ 758,008
			659,300	451,512	←助成金予算・支出を除く

第3号議案 会則の変更

3.1 会則変更の趣旨

会則第3条第1項(3)において、理事は10名以内と定められている。また、同第3項では、会長、副会長、事務局長は理事から選出すると定められている。一方、現在5つの委員会が設置されており、各委員会の活動を円滑に進めるためには各委員会から2名の理事を選出するのが望ましい。しかし、理事の定員が10名以内のため、広報委員会では理事が委員長1名となっている。また、試験支援委員会では委員長が副会長を兼任している。

この様な状況を改善するため、理事を15名以内に変更する必要があると考え、下記の通り会則の変更案を提案する。

3.2 会則の変更案

東京都市大学 柏門技術士会 会則
[2020年6月27日施行]

...

第3章 役員

(役員)

第12条 本会に次の役員を置く。

- (1) 会長 1名
- (2) 副会長 若干名
- (3) 事務局長 1名
- (4) 理事 ~~10名以内~~ → 15名以内
- (5) 監事 2名

2 役員は、本会の会員でなければならない。

3 会長、副会長、事務局長は、理事から選出する。

4 監事は、専任とし、理事との兼務は出来ないものとする。

5 理事より任期の途中で退任の申し出があり、会長が正当な理由と判断した場合は、退任を受理し、次期総会にて報告する。

(選任)

第13条 理事及び監事は、総会において、立候補者並びに被推薦者の中から選出する。

2 会長は、理事の互選により選出する。

3 副会長、事務局長は、会長の指名により選出する。

4 役員に欠員が生じたときの補充は、理事会において決定し、会長はその結果を次期総会に報告しなければならない。

以上

第4号議案 新任理事・監事の選出

1) 新任理事の選出

理事	会長	佐藤 貢一 (総合、建設) S60土木		
	事務局長	安藤 慎一郎 (建設) S57土木		
	総務委員会 委員長	浅野 研一 (建設) S52土木	総務委員会 副委員長	小原 丈二 (建設) S55土木/H30修都市
	広報委員会 委員長	石川 善信 (建設) S56/58修土木	★新任 広報委員会 副委員長	山浦 武彦 (建設) S62土木
	教育委員会 委員長	松浦 弦三郎 (建設) S51土木/H30修都市	教育委員会 副委員長	林 克彦 (建設) S54土木
	企画渉外委員会 委員長	下條 信幸 (電気電子) S56電気	企画渉外委員会 副委員長	北村 敏 (電気電子) H01電気電子
	試験支援委員会 委員長	安部 毅 (総合、建設、環 境) H02土木	★新任 試験支援委員会 副委員長	小林 洋一 (電気電子) S48電気

(計12名)

2) 新任監事の選出

監事	中澤 眞 (情報) S47電気	★新任 服部 尚道 (建設) H04土木/H06修土木		
----	--------------------	-----------------------------------	--	--

(計2名)

第5号議案 第17期 活動計画

総務委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	会員の動向の把握および会員名簿の管理、顧問委嘱手続き、会則、細則の制定・改訂等の原案作成、総会の開催に関する一切の事項、他委員会の活動支援	
委員	委員長：浅野 研一 副委員長：小原 丈二 委員：稲沢 達也、鈴木 修、安藤 慎一郎、三浦 聡、荒川 興一	
第17期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	・総務委員会文章事項に関する協議及び情報交換	数回/年
2. 会則・細則の改定	・会則・細則に関する修正・提案事項の検討および改定案の作成 ・第17期総会にて、会則・細則の改定の実施	必要により検討実施 第17期総会にて改定実施
3. 第17期総会の開催	・議案書の作成 ・会員への連絡 ・議決の確認	2020年6月
4. 顧問の委嘱手続き	・大学教員の異動に伴う、顧問の見直しおよび委嘱依頼	2020年5月
5. 会員名簿管理	・新規会員の入会、転居・転職等の会員情報の変更、退会・逝去等の情報の登録 ・会員数の把握	随時
6. 交流会の実施	・第17期は交流会実施期である。ただし、コロナウィルスの状況により、実施の有無、実施時期を再検討する。	未定
7. 他の委員会への活動支援	・大学講義の実施や技術士ガイダンス ・一次試験合格祝賀会 ・大学祭ブース出展 等へ支援	随時
第18期以降の活動方針（中期的な活動方針）		
<ul style="list-style-type: none"> ・柏門技術士会が活動し易いように、随時会則及び細則の見直しを行っていく。 ・転勤や定年などにより連絡先が不明とならるように、メルマガや総会の案内などを通じて、随時会員の動向を把握する。 ・各委員会に若手の委員が参加できるよう、行事等を通じて声掛けをしていく。 ・長期的に技術士会員数を増やすために、大学事務局や顧問の先生方との交流会を実施して、大学全体の技術士制度に対する理解を深めていく。（第17期に実施不可の場合は18期に延期する） ・技術士制度ガイダンスの実施や学祭のブースでの説明、大学講義での技術士制度の説明の充実などを、関係する委員会等と協力して実施していく。 		

広報委員会 活動計画

委員会の分掌事項	会報誌の作成・発行、ホームページの運営管理、会員への広報活動
委員	委員長：石川 善信 副委員長：山浦 武彦 委員：近藤 晴雄、松本 辰男、嶋矢 剛、服部 尚道、中林秀和、山川 和弘

第 17 期の活動計画

活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 会報誌の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・会報誌第 17 号の作成の企画・編集・印刷・発行等 ・会報誌 17 号の作成は 6 月の総会記事を掲載し、9 月に初旬に発送 	2020 年 6 月～
2. ホームページの運営管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの運用 ・運営委員会議事録の掲載 ・CPD 見学会報告などのニュースを掲載 ・大学の発展の経過をアーカイブスとして掲載 	通年
3. 会員への広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・メールマガジンを活用し CPD 見学会などの情報を会員へ発信する。 	通年
4. 都市大学生への広報活動	<ul style="list-style-type: none"> ・都市工学科 3 年生を対象としたキャリア研修にて「技術士制度」の紹介 ・環境情報学部特別講義にて「技術士制度」の紹介 ・世田谷キャンパス、横浜キャンパスにおける技術士ガイダンスの開催を都市大に広報する。 	通年
5. 追悼文集の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・山田元会長の追悼文集の作成 	2020 年 3 月

第 18 期以降の活動予定（中期的な活動方針）

大学でのガイダンス等イベントをメールマガジンにて紹介して、メールマガジンの拡充を進める。

教育委員会 活動計画

委員会の分掌事項	特別講義（ケーススタディ）、その他の教育と指導に関する企画と運営
委員	委員長：松浦 弦三郎 副委員長：林 克彦 委員：松本 芳幸、油井 理、街道 浩、山本 晃弘（小原 丈二、明官 均）

第 17 期の活動計画

活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	大学より依頼の講義の向上のため、実施後の反省、次回テーマの選定、日程調整などを行う。講義実施時は講師以外の者も出来る限り参加し討議補助をするよう調整する。	会議は年 2 回程度、その他メール等により随時調整
2. 特別講義（ケーススタディ）	今期も都市工学科より依頼の「技術者倫理」（3 年・必修）を緑土会（学科 OB 会）との「共同寄付講座」として、全講義時間の半分（今期は 110 分授業 6 回）行う。今期はコロナウイルスの影響によりメディア授業（オンデマンド型）での実施となる。初めての試みであり討議等がスムーズに実施できるように講師以外の者も出来る限り参加し補助をするよう調整する。	2020 年 4~5 月
3. その他の教育と指導に関する企画と運営	NPO「高速道路友の会」が主催する「東名・新東名見学会」等を後援する。その他、見学会を先生側に提案する。	2020 年 7 月頃
4. 技術士・技術士補の受験支援	14 期より技術士試験支援実行委員会が本学在学学生等に対して本格的な受験支援の活動を始めたことから、状況に応じて補佐的支援を行う。	随時、必要の際調整する
5. その他	現在の具体的な活動は大学からの依頼に基づいていることもあり、都市工学科中心となっているが、他学部学科に対しても、需要に応じて、今後積極的に対応していく。	随時、必要の際調整する

第 18 期以降の活動予定（中期的な活動方針）

大学における人材育成は、社会の要請に基づいた教育をより重視していく方向にある。そのような教育環境を踏まえ、大学での講義は大学から依頼があることが必須であるため、「東京都市大学アクションプラン 2030」（「時代の要請に取り組み」という記述あり）に沿った具体的な講義プランに従って、どのような支援・協力出来るのかを大学側と十分なコミュニケーションを取りながら活動していく。

また、現在実施している講義等については、大学側の希望・時代の要請などを取り込みながら質的向上を計り、継続するべく努める。なお、学生教育については大学に加え、学科卒業生の会（所謂 OB 会）等が活動をされている場合もあり、関係者との十分な調整の基に活動する。特に、今後は Web 授業が益々推進されていくことになると思われるので新たな発想のもとで協力して行く。

企画渉外委員会 活動計画

委員会の分掌事項	見学会、講演会、その他行事等の企画・運営並びに日本技術士会との交流と情報交換
委員	委員長：下條信幸 副委員長：北村 敏 委員：田部井哲夫、尾崎正明、森久保武史、藤本健、永井佑樹

第 17 期の活動計画

活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 委員会の開催、情報交換	会員へのサービスを反映した CPD 行事、交流会の企画検討を行う。 世田谷祭、横浜祭の展示準備及び見学会の企画検討を行う。	適宜
2. 世田谷祭・横浜祭での 本会 PR ブースの開設	学生・教職員・大学事務局への“技術士制度&技術士”の啓発活動、柏門技術士会活動の PR、技術士第一次試験奨励活動を具体的にすすめる。	2020 年 世田谷祭 10 月 横浜祭中止
3. 見学会、講演会の開催	CPD 活動の一環及び会員への交流として見学会・講演会を企画する。	2020 年 11 月頃
4. 技術士第一次試験合格者 お祝いの会	一次試験合格者の在校生との交流を深めるとともに、将来の第二次試験に向けての情報を提供する。	2021 年 2 月頃
5.		

第 18 期以降の活動方針（中期的な活動方針）

会員相互の交流のために、多くの会員が参加できる CPD 見学会、講演会等を企画していく。
学生に技術士受験の推進のための広報活動を積極的に行う。
技術士第一次試験合格者との交流が大切であることから、今後合格者が増加したことを検討する。
新規にホームカミングデーにて柏門技術士会の PR 方法を検討する。

試験支援委員会 活動計画		
委員会の分掌事項	技術士制度のガイダンス及び特別講義の実施、その他の技術士資格取得に関する企画と運営	
委員	委員長：安部 毅 副委員長：小林 洋一 委員：近藤 晴雄、小林 政徳、進藤 敏則、永田 嘉和、永尾浩一	
第 17 期の活動計画		
活動項目	活動の目的・実施内容等	実施予定 (年月等)
1. 横浜キャンパス 特別講義 (技術士補コース)	<ul style="list-style-type: none"> ・環境・メディア情報学部共通、2年生を対象に後期第3Q全14回の講義を実施する。 ・メディア授業の可能性もあるため、そのための準備も講師間連携のもと進める。 	2020年 9月～11月
2. 受験ガイダンスの実施	<ul style="list-style-type: none"> ・実施方法を検討し横浜と世田谷の両キャンパスにて実施する(全学年、全学部対象)。 ・世田谷では、外部講師を招き TOEIC 対策と合同で実施する。 	2020年7月
3. 模擬試験の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・学校事務局と連携し、横浜、世田谷キャンパスで実施し、在校生の受験者増を図る。 ・採点と激励コメントにより、モチベーション向上を図り、合格率向上を目指す。 	2020年8月
4. その他、試験奨励活動の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・機械工学科における新入生の機械工学セミナーで、技術士制度の説明を実施する。 ・都市工学科における3年生のキャリア開発の講義で、技術士試験の説明を実施する。 	2020年 6月～8月
5. 学内広報活動 (広報委員会と連携)	<ul style="list-style-type: none"> ・受験支援制度、受験ガイダンス、模擬試験等について、学生ポータル等で広報する。 ・実施するキャンパスだけでなく、他のキャンパスも含め、全学内へ広くPRする。 	適宜
第 18 期以降の活動予定 (中期的な活動方針)		
<p>* J A B B E 認定されている学生(現在、都市工学科及び機械工学科)を含め、在学中の第一次試験の受験、及び資格取得拡大に向けた検討を行う。(目標：在学生 400 名受験)</p> <p>* 受験ガイダンス、模擬試験の実施、その他の取組を行い、受験者増と合格率向上を図る。横浜、世田谷で定着した取組について、等々力キャンパスを含めた全校全学部への拡大を図る。</p> <p>* 技術士試験の出題傾向や問題の分析を行い、特別講義やガイダンス等に反映させるとともに、必要に応じ大技連での情報交換、日本技術士会への情報提供を行い、質の向上、制度の充実を図る。</p> <p>* 第一次試験の対策にとどまらず、第一次試験を通過した会員等への第二次試験取得のための支援活動について検討を行う。</p>		

第6号議案 第17期 収支予算

東京都市大学 柏門技術士会 第17期 収支予算案

(令和2(2020)年4月1日～令和3(2021)年3月31日)

1. 収入の部

(単位:円)

科目	第16期 実績	第17期 予算	増減(17期-16期)	備考
会費収入	435,000	450,000	15,000	年会費:100人×(1~5千円) ※16期:99名
行年会費	98,000	105,000	7,000	総会会費:35人×3千円/人
協賛広告費	100,000	100,000	0	2社×50千円
雑収入	6	770,000	769,994	校友会第一次試験助成金770千円(二期分70名合格 想定)IPEJとの協定に基づく交通雑費収入(実費)
台風19号義援金	189,000	3,000	△ 186,000	3月末締切に対して4月振込:1名
当期収入合計	822,006	1,428,000	605,994	
繰越金	1,369,788	1,740,282	370,494	
収入総合計	2,191,794	① 3,168,282	976,488	

2. 支出の部

科目	第16期 実績	第17期 予算	増減(17期-16期)	備考(増減理由)
事務用品費	14,607	33,000	18,393	前年同様予算。メール送信増を踏まえて封筒など通信用品費 5千円減
印刷・通信費	54,691	115,000	60,309	前年実績と同様。総会資料の外注印刷30千円増
行年会費	112,732	170,000	57,268	懇親会単価(1,780⇒3,000円)増
会報誌、広報	216,000	251,000	35,000	前期実績により8千円減。会のHP維持費は本学サーバー利用による減額について本学と協議中
委員会費	20,394	66,000	45,606	前期同様。広報活動の前期実績・今期予定およびIPEJ補助額減を考慮
渉外費他	33,088	854,000	820,912	技術士第一次試験助成金 770千円(1期55名⇒二期70名:200千円増)
台風19号義援金	0	292,000	292,000	16期支出予定からずれ込み(本会100,000円+個人29名分192,000円)増
当期支出合計	451,512	② 1,781,000	1,329,488	
繰越金	1,740,282	③ 1,387,282	△ 353,000	
支出総合計	2,191,794	3,168,282	976,488	

3. ③残高(次期繰越金)

①収入の部-②支出の部	① 3,168,282	② 1,781,000	③ 1,387,282	令和2(2020)年3月31日時点残高予想
-------------	-------------	-------------	-------------	-----------------------

第17期 当期支出予算内訳(案)

科目	第17期 予算		備考
	内訳項目	内訳品名	
			*(但し以下に記載の数字は前期予算との差異)
事務用品費		33,000	33,000
			5,000減
①会報誌・総会	封筒	5,000	前期同様
〃	発送用あて先ラベル、インク等	3,000	〃
②事務局	封筒、事務用品他	5,000	前期から減 -5,000
③技術士試験支援	受験参考書	20,000	前期同様、試験内容の変更に伴う新書購入等を踏まえて予算確保
印刷・通信費		115,000	33,000
			30,000増
①第17期総会	資料印刷費(70部)	30,000	前期実績、外注費用を確保
②第17+第18期総会	案内往復葉書(200枚)	45,000	前期同様、前期未処理分(25,000)+今期分(20,000)
③柏門案内	パンフレット(500部)作成費	0	前期同様、作成しない。
④会報誌16号	送付費用	30,000	前期同様
⑤世田谷祭	資材運搬費	2,000	前期同様
⑥横浜祭	資材運搬費	2,000	〃
⑦事務局	新規入会者等郵送代	5,000	〃
⑧技術士試験支援	資料等印刷費	1,000	前期同様
行事会費		170,000	170,000
			42,700増
①第16期総会	懇親会費用	105,000	35名@3,000円:通常総会35名の参加者を見込む
〃	講演会費	50,000	前期同様、講演者謝金
〃	会場設営・設備費	5,000	前期同様
②世田谷祭	ポスター準備・会場設営他	2,000	前期同様
〃	世田谷祭実行委員会対応	3,000	〃
③横浜祭	ポスター準備・会場設営他	2,000	〃
〃	横浜祭実行委員会対応	3,000	〃
会報誌、広報		251,000	251,000
			8,000減
①会報誌15号	テープ起こし費用	67,500	前期実績 講演会および式典(2.5h×25,000円+税)
〃	会報誌印刷代(モノクロ 550部)	130,000	前期実績 他業者利用等、コスト減を図る -15,000
②HP維持費	HP用サーバーの賃借料	43,500	前期実績 本学サーバー利用による減が未確定
③都市大新聞	広告等掲載料(技術士試験関連)	10,000	前期同様 新聞会活動再開で広告費を計上
委員会費		66,000	66,000
			前期同様
①交通費補助	技術士関連広報活動	45,000	前期同様 支出増を考慮
②委員会会議	会場費	3,000	基本、無料施設を利用 -13,000
③寄付講座	講師交通費	18,000	前期同様 IPEJからの補助額減を踏まえて増額 +50%(6,000)
渉外費他		854,000	854,000
			220,000増
①他大学技術士会等	総会・懇親会・シンポ参加費	0	未定のため0とする
②新東名見学会後援	講師(6名)への手土産	8,000	前年同様 対応について検討(名称変更?現役生見学会の支援)
③見学会(7月)	見学先への手土産	3,000	〃
④見学会(11月)	見学先への手土産	3,000	〃
⑤大学顧問との交流会	意見交換会費	27,000	前年同様 意見交換会は簡素に行う。
⑥事務局	協賛先等へのお礼	43,000	前年同様
⑦技術士第一次試験助成金	申請者への助成金支給(11,000円/人)	770,000	二期分70名の申請者を見込む(振込手数料は柏門より2万円)
⑧技術士第一次試験合格祝賀会	祝賀会費用(合格者超過分)	0	企画渉外委員会独自会計とする。会計では予算計上しない。
台風19号義援金		292,000	292,000増
①台風19号義援金	東京都市大学への寄付(個人分)	192,000	4月に3,000円納付があり、追加189,000+3,000増=192,000円
〃	東京都市大学への寄付(本会分)	100,000	会としての追加金額
当期支出合計		1,781,000	1,011,000
			←助成金を含まない予算金額

報告事項 1 2020年度顧問委嘱

(新任顧問 5名の委嘱)

NO	名称	現 職	氏 名	NO	名称	現 職	氏 名
1	最高顧問	学長	三木 千壽	24	顧 問	建築都市デザイン部 建築学科 主任教授	小見 康夫
2	最高顧問	学校法人 五島育英会 理事長	高橋 遠	25	顧 問	建築都市デザイン部 都市工学科 主任教授	末政 直晃
3	顧 問	NPO法人建設技術監査センター 理事・相談役	(新任) 五艘 章	26	顧 問	情報工学 情報科学科 主任教授	横山 孝典
4	顧 問	副学長 (統括, 研究担当)	丸泉 琢也	27	顧 問	情報工学部 知能情報工学科 主任教授	森 博彦
5	顧 問	副学長 (連携担当)	吉崎 真司	28	顧 問	理工部 自然科学科 主任教授	飯島 正徳
6	顧 問	副学長 (教育担当)	皆川 勝	29	顧 問	東京都市大学 名誉教授	増田 陳紀
7	顧 問	大学院総合理工学研究科長	江原 由泰	30	顧 問	国際センター長	本間 宏二
8	顧 問	大学院環境情報学研究科長	伊坪 徳宏	31	顧 問	総合理工学研究科教務委員長	吉田 郁政
9	顧 問	理工学部長	大上 浩	32	顧 問	理工学部教務委員長	(新任) 高津 淑人
10	顧 問	情報工学部長	田口 亮	33	顧 問	情報工学部教務委員長	(新任) 中野 秀洋
11	顧 問	環境学部長	室田 昌子	34	顧 問	建築都市デザイン学部教務委員長	(新任) 三上 貴仁
12	顧 問	メディア情報学部長	関 良明	35	顧 問	環境学部 環境創生学科 主任教授	リジャル ホム・パドゥル
13	顧 問	都市生活学部長	川口 和英	36	顧 問	環境学部 環境経営システム学科教授	大塚 善樹
14	顧 問	人間科学部長	井戸 ゆかり	37	顧 問	理工学部 機械工学科教授	白木 尚人
15	顧 問	共通教育部長	新保 良明	38	顧 問	理工学部 原子力安全工学科准教授	松浦 治明
16	顧 問	建築都市デザイン学部長	(新任) 勝又 英明	39	顧 問	理工学部 医用工学科教授 (学生部長)	和多田 雅哉
17	顧 問	総合研究所所長	野中 謙一郎	40	顧 問	理工学部 電気電子通信工学科教授	岡野 好伸
18	顧 問	理工学部 機械工学科 主任教授	横 徹雄	41	顧 問	理工学部 エネルギー化学科教授	宗像 文男
19	顧 問	理工学部 機械システム工学科 主任教授	宮坂 明宏	42	顧 問	建築都市デザイン学部 建築学科教授	天野 克也
20	顧 問	理工学部 原子力安全工学科 主任教授	河原林 順	43	顧 問	建築都市デザイン学部 建築学科教授	近藤 靖史
21	顧 問	理工学部 医用工学科 主任教授	桐生 昭吾	44	顧 問	建築都市デザイン学部 都市工学科准教授	五艘 隆志
22	顧 問	理工学部 電気電子通信工学科 主任教授	岩尾 徹	45	顧 問	情報工学部 情報科学科講師	星 義克
23	顧 問	理工学部 エネルギー化学科 主任教授	高橋 政志	46	顧 問	理工学部 自然科学科教授	吉田 真史

報告事項2 体制表

1. 全体

役職名	
最高顧問	第17期総会 報告事項1 2020年度顧問委嘱参照
顧問	第17期総会 報告事項1 2020年度顧問委嘱参照
会長	佐藤 貢一
副会長	安部 毅
事務局長	安藤 慎一郎
理事	第17期総会 第4号議案 理事参照
監事	第17期総会 第4号議案 監事参照

2. 体制表

2020年度 体制表

委員会名	委員長	副委員長	委 員			
総 務	浅野 研一	小原 丈二	稲沢 達也	鈴木 修	安藤 慎一郎	三浦 聡
			荒川 興一			
広 報	石川 善信	山浦 武彦	近藤 晴雄	松本 辰男	鳴矢 剛	服部 尚道
			中林 秀和	山川 和弘		
教 育	松浦 弦三郎	林 克彦	松本 芳幸	油井 理	街道 浩	山本 晃弘
企画渉外	下條 信幸	北村 敏	田部井 哲夫	尾崎 正明	森久保 武史	藤本 健
			永井 佑樹			
試験支援	安部 毅	小林 洋一	近藤 晴雄	小林 政徳	進藤 敏則	永田 嘉和
			永尾 浩一			

報告事項3 会員動向

(2019. 07～2020. 06)

物故会員

会員名	備考
山田 秋夫 (S35土木)	2019年11月1日逝去

新入会員

会員名	備考
浦見 成一 (H8電気電子)	
松本 真樹 (S55土木)	
上村 俊晴 (R1知識工学部経営システム)	修習技術者
小林 正徳 (S52機械)	
石村 哲朗 (S53機械)	
八木 公平 (H8土木)	
仲田 貞夫 (S58土木)	
太田 一三 (S56土木)	

退会

会員名	備考
伊丹 誠慎 (S47機械)	